

3. 高齢者お達者プランの策定状況について

(2) 在宅生活改善調査について



加賀市健康福祉部介護福祉課

令和 8 年 9 月 3 日

在宅生活改善調査

目的	第10期高齢者お達者プランの策定に向けて、自宅等にお住まいの方で現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者の実態を把握し、地域に不足する介護サービス等を検討する。
調査対象	加賀市内の居宅介護支援事業所(15事業所)、 小規模多機能型居宅介護事業所(14事業所)
調査期間	4月24日～5月22日
調査内容	①事業所票： 事業所の管理者の方が記入 居場所を変更した利用者の要介護度や、行き先等についての質問票 ②利用者票： 事業所の各ケアマネジャーの方が記入 各ケアマネジャーのご担当の利用者のうち、「(自宅等にお住まいの方)現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」についての調査票

主な設問

①事業所票	・事業所に所属するケアマネジャーの人数、利用者数(R8.3.31時点) ・自宅から居場所を変更した利用者数(要介護度別)(R7.4.1～R8.3.31) ・自宅から居場所を変更した利用者数(行き先別)(R7.4.1～R8.3.31)
②利用者票	・利用者の世帯状況、現在の居所(自宅、サ高住など)、介護度 ・現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由 ①本人の状態等に属する理由 ②本人の意向等に属する理由 ③家族等介護者の意向・負担等に属する理由 ・「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている」状況を改善するための、サービス利用の変更等について

まとめ

- 過去1年間に自宅から居所変更した利用者は、要介護2が多い。(P5)
- 在宅での生活の維持が困難となっている高齢者の割合は11.1%。(P6)
- 本人に関する要因としては、全体的に「認知症症状の悪化」、軽・中度者では「生活支援の増大」、重度者では「身体介護量の増大」が挙げられる。(P7)
- 家族に関する要因としては、「介護者の介護に係る不安・負担量の増大」が挙げられる。ただし、本調査のみでは「不安」の詳細が不明である。(P8)
- 認知症の症状の悪化の具体的な内容としては、「薬の飲み忘れ」、「金銭管理が困難」が多い。(P9)

検討課題

- 家族介護者の負担をICTの活用も視野に入れた軽減策の検討
- 社会福祉法改正に伴う頼れる身寄りがいない高齢者等への支援メニューと社会福祉協議会との体制構築の検討
- 介護保険サービス外的生活支援の充実

在宅生活改善調査 集計結果

2026/7/15

石川県加賀市

発送事業所数：29件

回収事業所数：29件

回収率：100.0%

(注1) 不正確な回答や無回答等がある場合、正確な集計結果となっていないおそれがあります。エクセルファイルに入力したデータを良くご確認ください。
(注2) グラフのレイアウト等を変更する場合は、エクセルファイル上のグラフを修正の上、このファイルに貼り直してください。
(注3) 構成比を示す表は、セルの赤色が濃いほど100%に近いことを示しています。

【在宅生活改善調査】

調査の目的

- ・在宅生活改善調査では、「過去1年間」の、①自宅等から居場所を変更した利用者の行先別人数や②自宅等において死亡した利用者の人数、また、現在自宅等にお住まいの方で、「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている方」の、①人数や②生活の維持が難しくなっている理由、③生活の改善のために必要な支援・サービス等を把握します。
- ・そして、調査の結果や、調査結果に基づいた関係者間での議論を通じ、住み慣れた地域での生活の継続性を高めるために必要な支援やサービス、連携のあり方を検討し、介護保険事業計画に反映していくことを目的としています。

調査の概要

- ・アンケートは、居宅介護支援事業所のケアマネジャーの方にご回答いただきます。各ケアマネジャーは担当する利用者について、上記の「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている方」を抽出し、その概要を回答します。
- ・それぞれのケアマネジャーが判断する、「その方の生活改善に必要な支援・サービス」が「地域に不足する支援・サービス」である、という考え方が基礎にあります。
- ・本調査の集計では、「特養待機者」「その他施設等の待機者」「在宅サービス待機者」という言葉を使用していますが、これは特養のみでなく、その他のサービスの待機者についても同じように把握し、整備の必要性を検討するためのものです。

注目すべきポイント

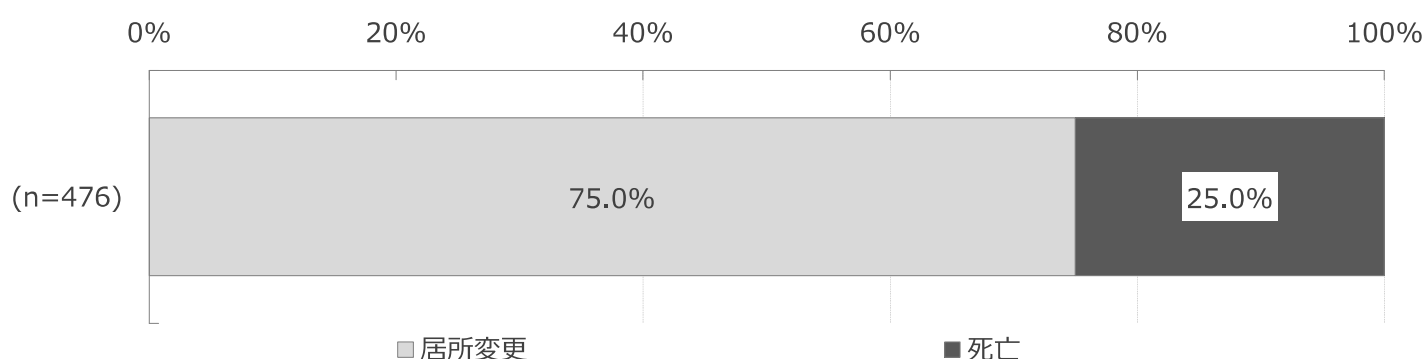
- ・過去1年間で、自宅等から居所を変更した人（住み慣れた住まいで暮らすことができなかった人）は、どの程度いるか？
- ・現在、生活の維持が難しくなっている人は、どのような人で、どの程度いるか？（継続的に調査し、その人数を減らすことはできないか）
- ・生活の維持が難しくなっている理由、生活改善に必要な支援・サービスは何か？（サービス提供体制の構築方針の検討）

※ 特に生活の維持が難しくなっている理由や、必要な支援・サービスについては、アンケート調査の結果のみでなく、調査結果をもとに関係者間での議論を通じて検討することが重要です。

過去1年間の実績

過去1年間の実績

過去1年間の居所変更と自宅等における死亡の割合



加賀市全体で、過去1年間に
自宅等から居所を変更した利用者数



粗推計
357人

回答実数
357人

加賀市全体で、過去1年間に
自宅等で死亡した利用者数



119人

119人

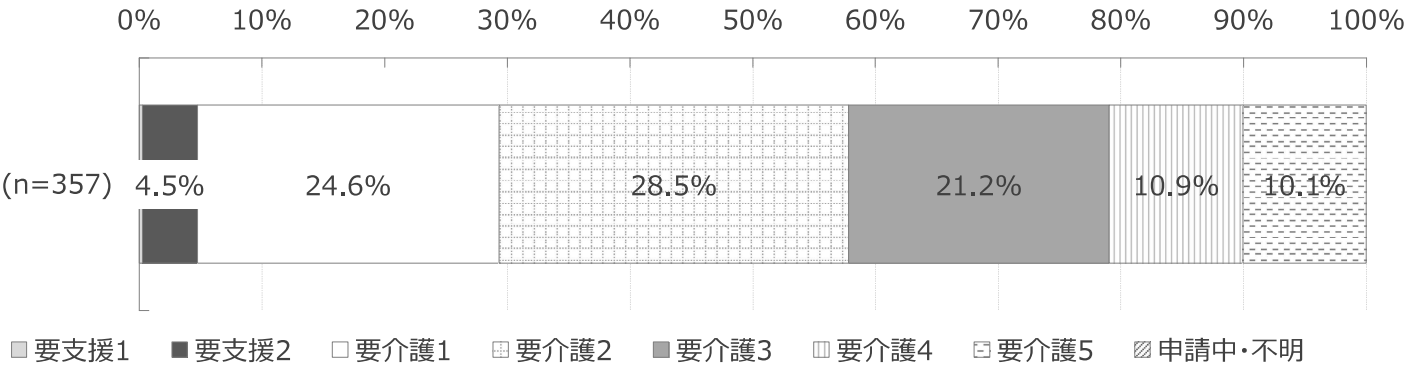
(注1) 「自宅等」には、サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームを含めていません。
(注2) 「粗推計」は、居所を変更した利用者数や自宅等で死亡した利用者数に、回収率の逆数を乗じて簡易的に算出しています。

過去1年間に自宅等から居場所を変更した利用者の行先別の人数

行先	市区町村内	市区町村外	合計
兄弟・子ども・親戚等の家	1人	3人	4人
	0.3%	0.8%	1.1%
住宅型有料老人ホーム	17人	4人	21人
	4.8%	1.1%	5.9%
軽費老人ホーム	10人	0人	10人
	2.8%	0.0%	2.8%
サービス付き高齢者向け住宅	10人	5人	15人
	2.8%	1.4%	4.2%
グループホーム	27人	4人	31人
	7.6%	1.1%	8.7%
特定施設	8人	0人	8人
	2.2%	0.0%	2.2%
地域密着型特定施設	2人	0人	2人
	0.6%	0.0%	0.6%
介護老人保健施設	68人	1人	69人
	19.0%	0.3%	19.3%
介護医療院	10人	0人	10人
	2.8%	0.0%	2.8%
特別養護老人ホーム	55人	5人	60人
	15.4%	1.4%	16.8%
地域密着型特別養護老人ホーム	8人	0人	8人
	2.2%	0.0%	2.2%
病院・診療所	112人	3人	115人
	31.4%	0.8%	32.2%
その他	3人	1人	4人
	0.8%	0.3%	1.1%
行先を把握していない			0人
			0.0%
合計	331人	26人	357人
	92.7%	7.3%	100.0%

(注1) 「自宅等」には、サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームを含めていません。
(注2) 表の上段の数値は、「回答実数」であり、回収率の逆数を乗じて簡易的に算出した「粗推計」されたものではありません。

過去1年間に自宅等から居場所を変更した利用者の要介護度の内訳

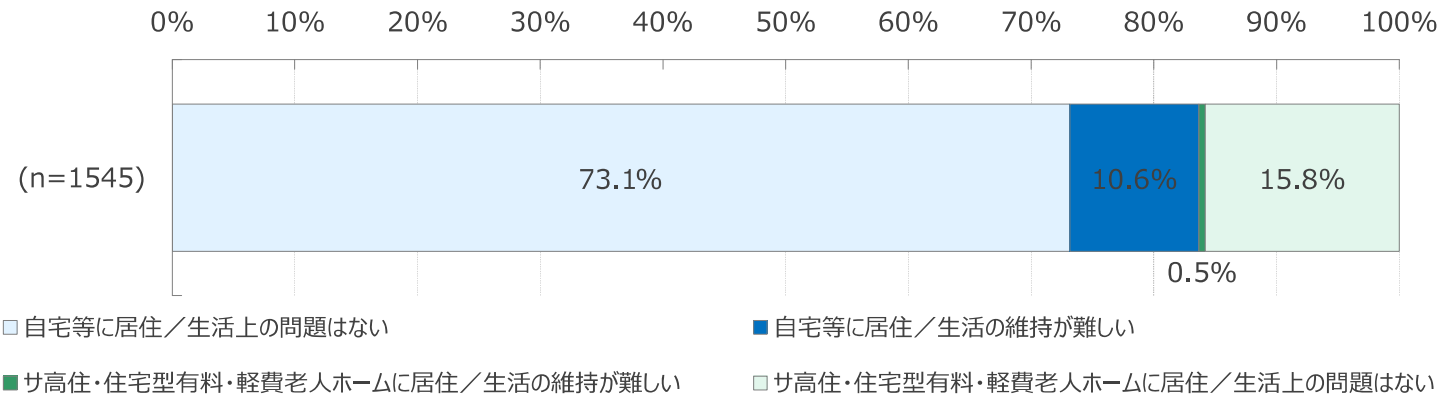


(注) 「自宅等」には、サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームを含めていません。また、死亡した方は集計から除いています。

現在の利用者の状況

現在の利用者の状況

現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者



自宅・サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームに
居住する利用者のうち、生活の維持が難しくなっている割合

加賀市全体で、在宅での生活の維持が
難しくなっている利用者数

合計
(要介護2以下)
(要介護3以上)

11.1%
粗推計
170人
129人
41人

回答実数
170人
129人
41人

6

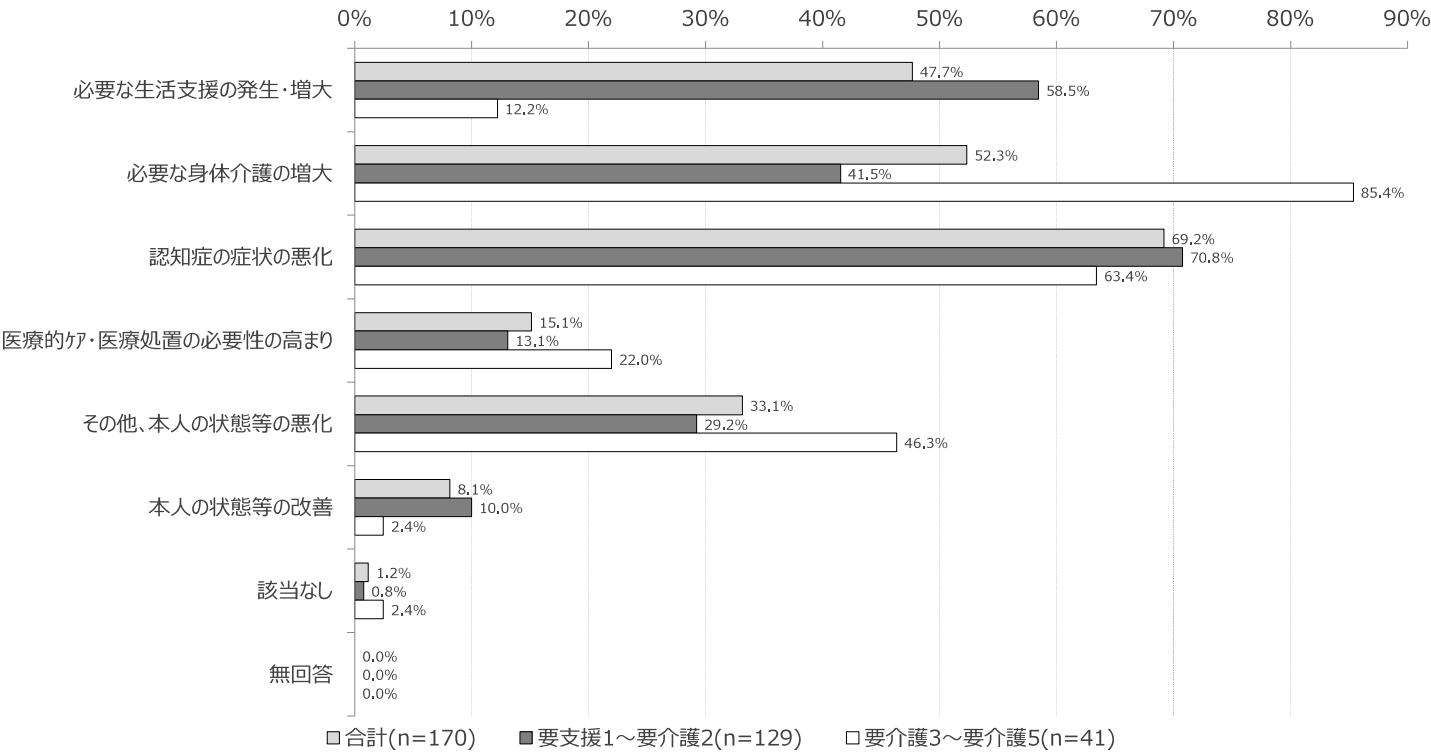
(注)「粗推計」は、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者数に回収率の逆数を乗じて簡易的に算出しています。

現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者の属性

順位 (上位10類型)	回答実数	粗推計	割合	世帯類型				居所			要介護度	
				独居	夫婦のみ世帯	単身の子どもの同居	その他世帯	自宅等(持ち家)	自宅等(借家)	サ高住・住宅型有料・軽費	介2以下	介3以上
1	36人	36人	20.9%	★				★			★	
2	28人	28人	16.3%		★			★			★	
3	23人	23人	13.4%				★	★			★	
4	22人	22人	12.8%				★	★				★
5	15人	15人	8.7%	★					★		★	
6	14人	14人	8.1%			★		★			★	
7	7人	7人	4.1%	★						★	★	
8	6人	6人	3.5%			★		★				★
9	4人	4人	2.3%	★					★			★
10	4人	4人	2.3%		★			★				★
上記以外	11人	11人	7.6%									
合計	170人	170人	100.0%									

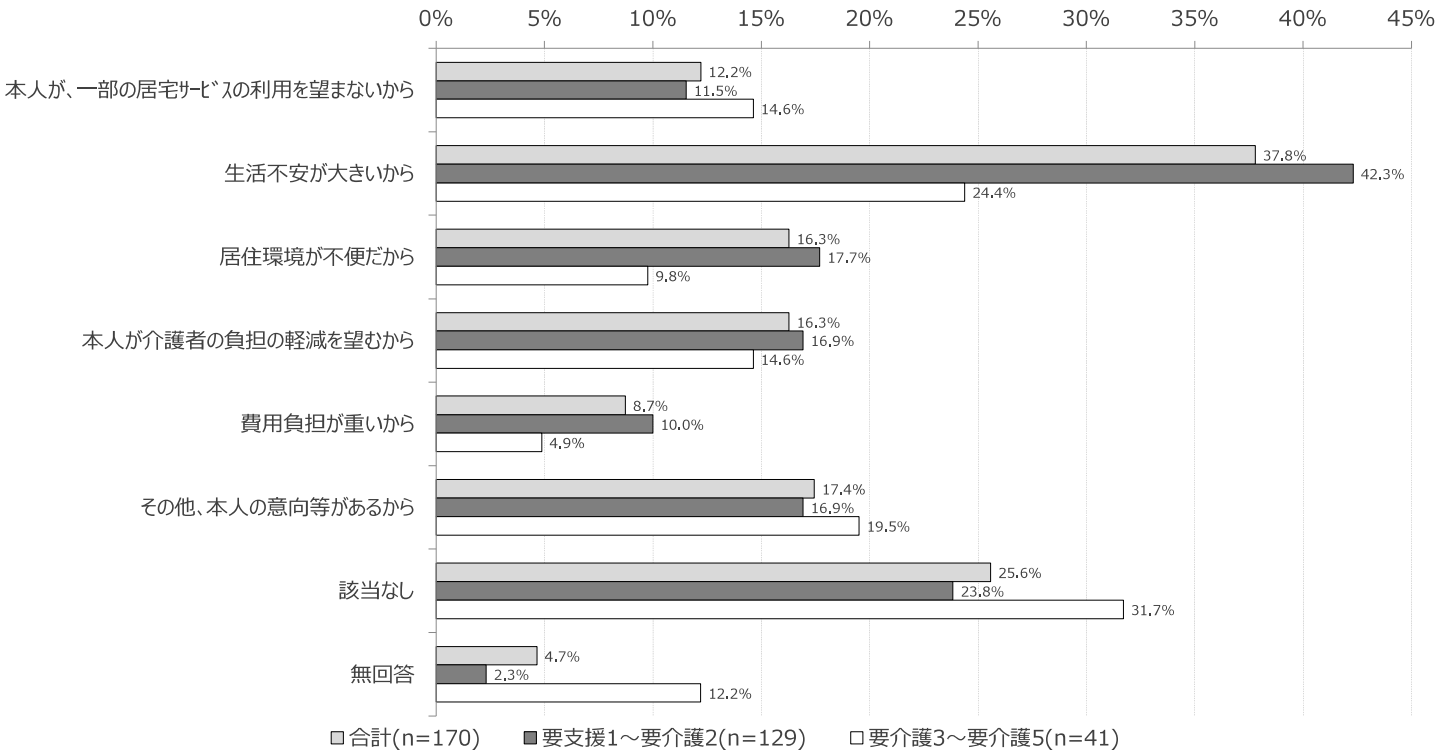
(注)「粗推計」は、回答数に回収率の逆数を乗じて簡易的に算出しています。また、「上記以外」には、要介護度が「新規申請中」の方や属性が不明な方を含めています。

生活の維持が難しくなっている理由
(本人の状態に属する理由、複数回答)



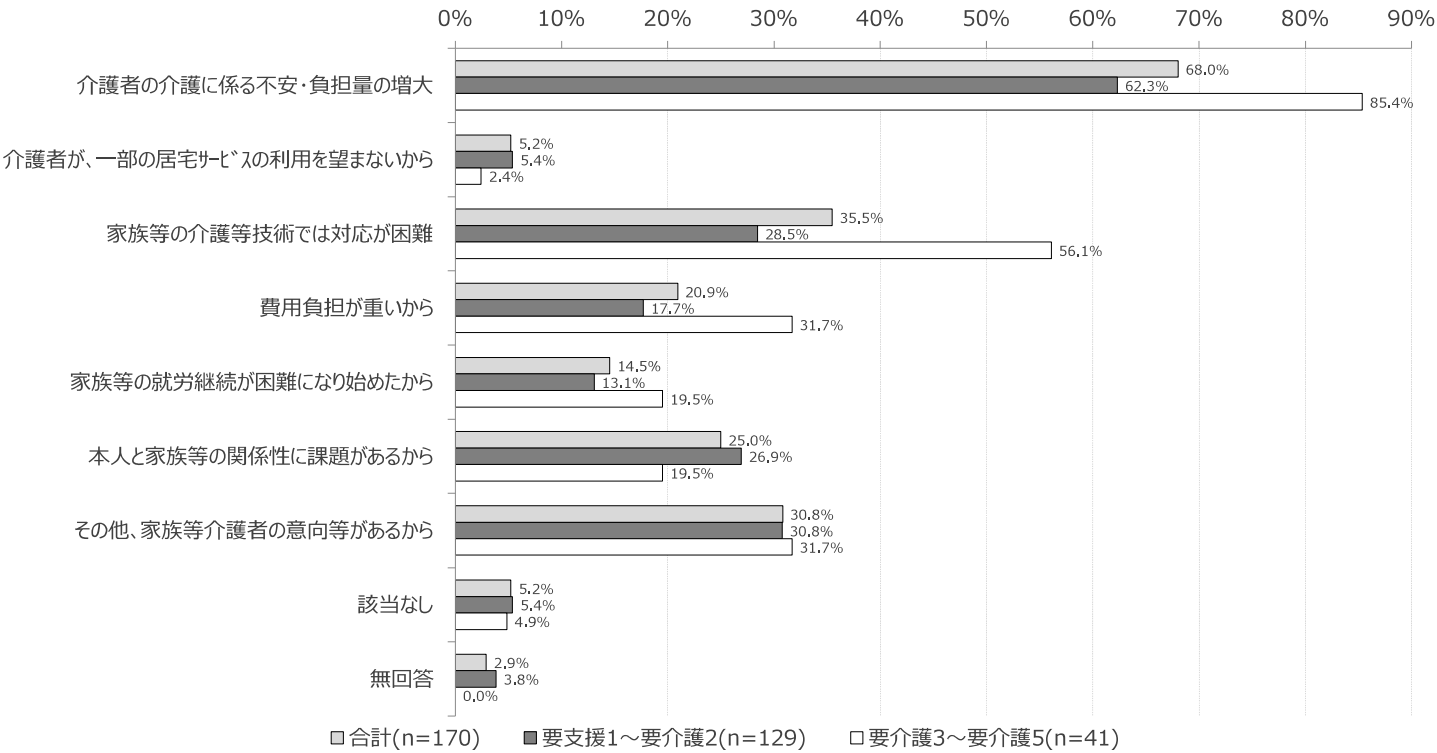
(注)「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

生活の維持が難しくなっている理由
(本人の意向に属する理由、複数回答)



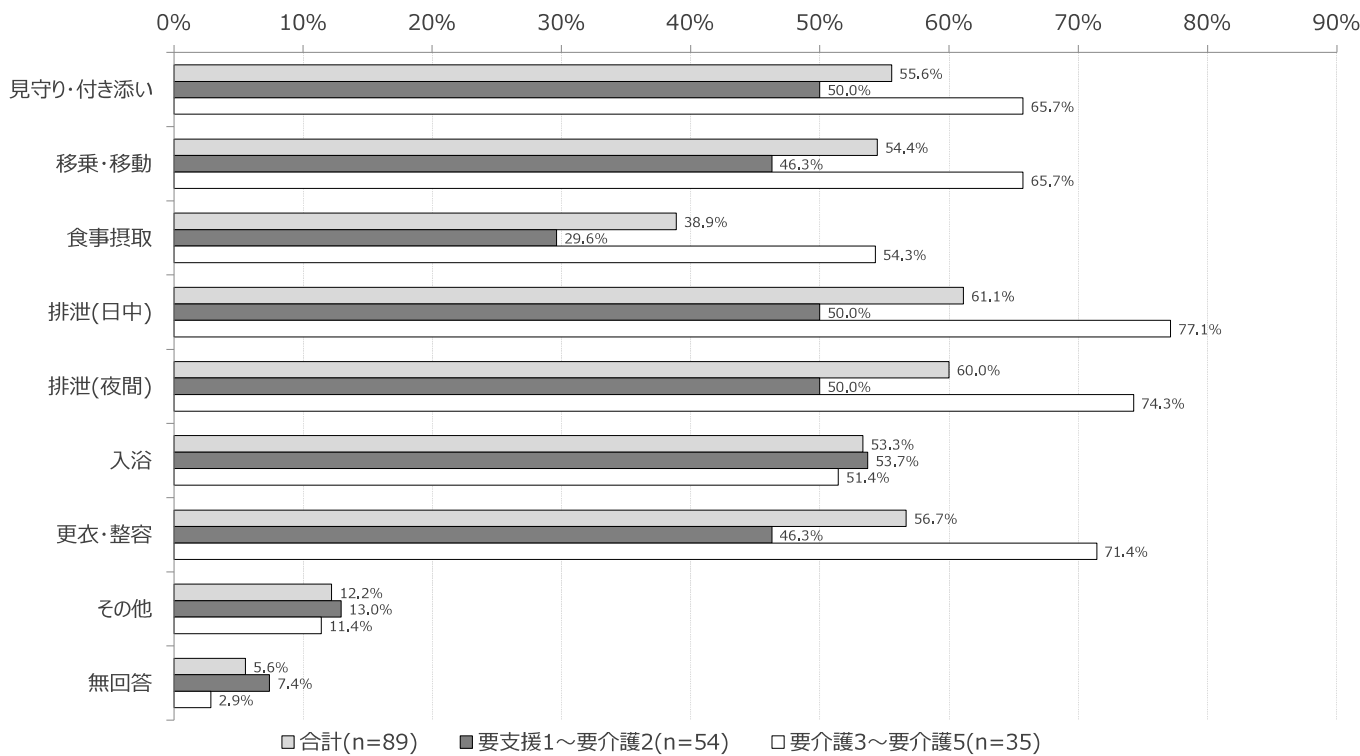
(注)「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

生活の維持が難しくなっている理由
(家族等介護者の意向・負担等に属する理由、複数回答)



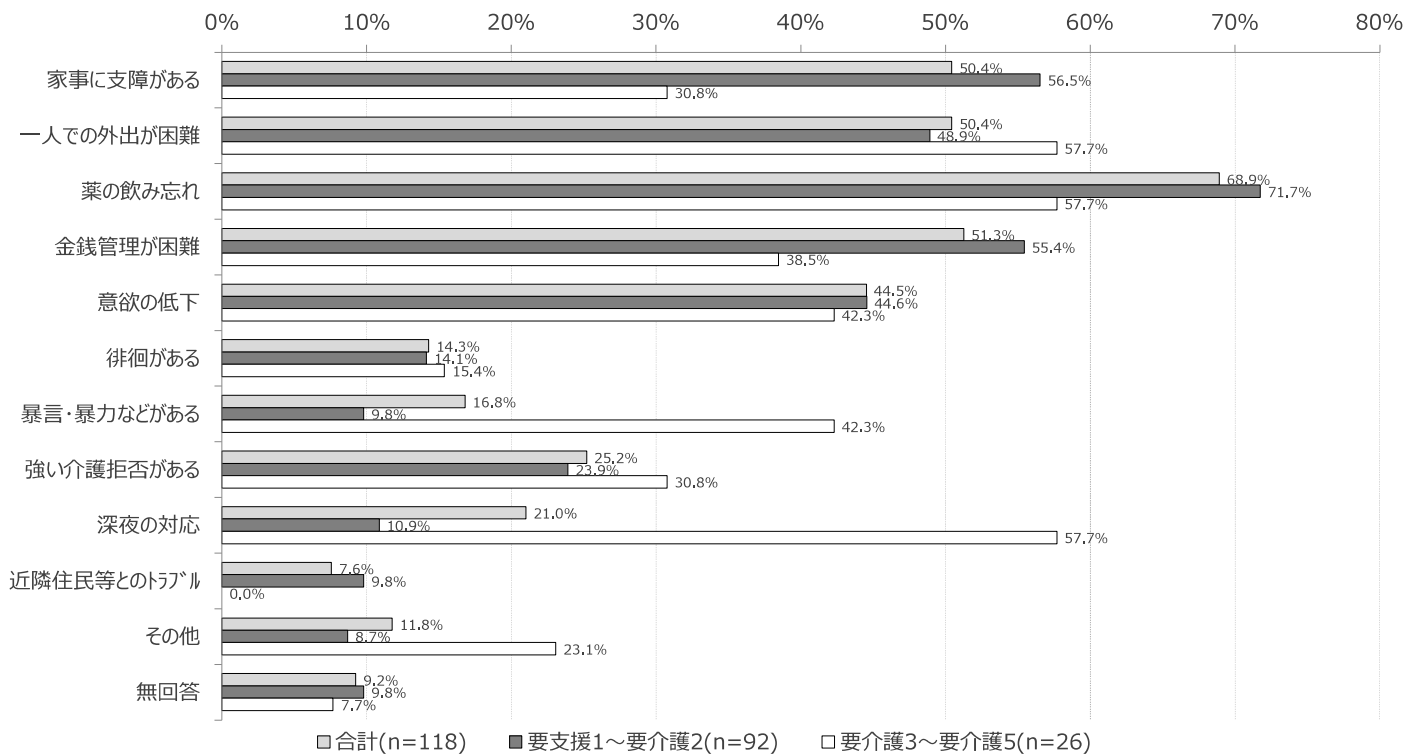
(注)「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

「必要な身体介護の増大」が理由の人の具体的な内容（複数回答）



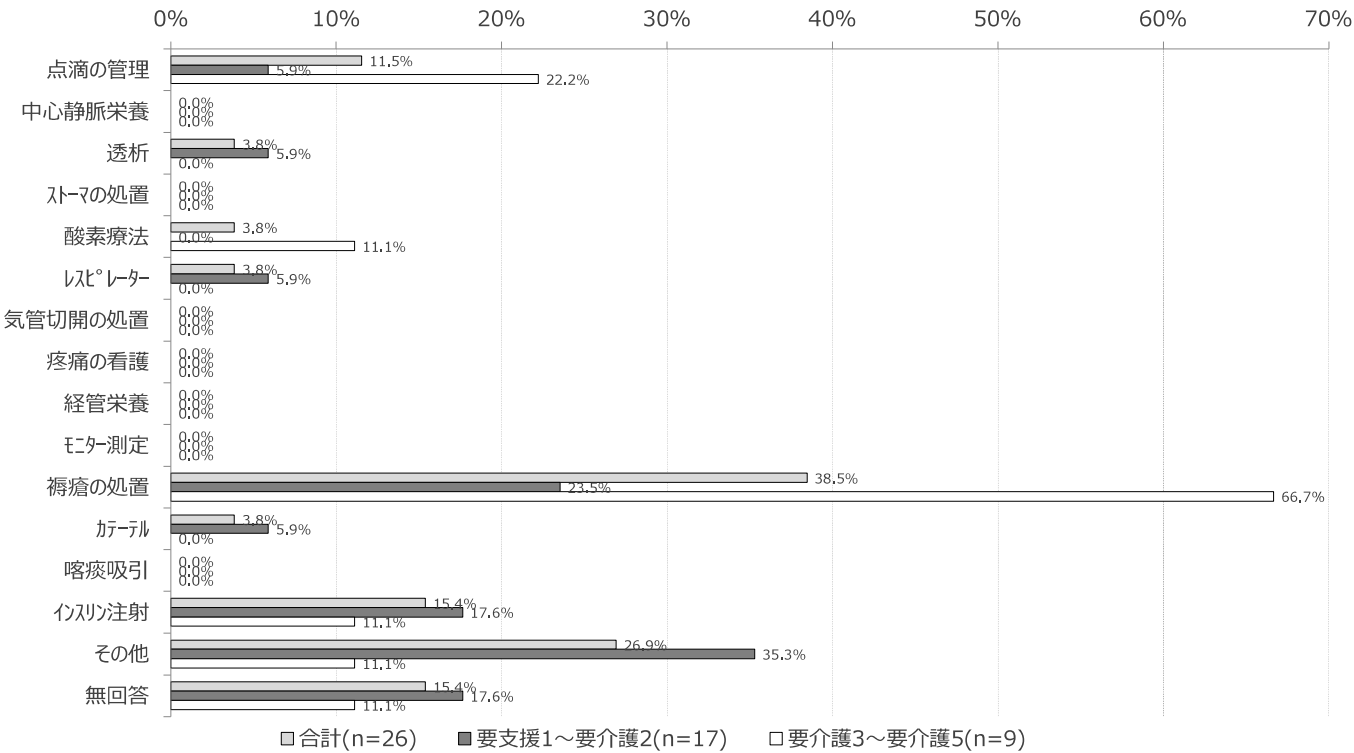
(注)「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

「認知症の症状の悪化」が理由の人の具体的な内容（複数回答）



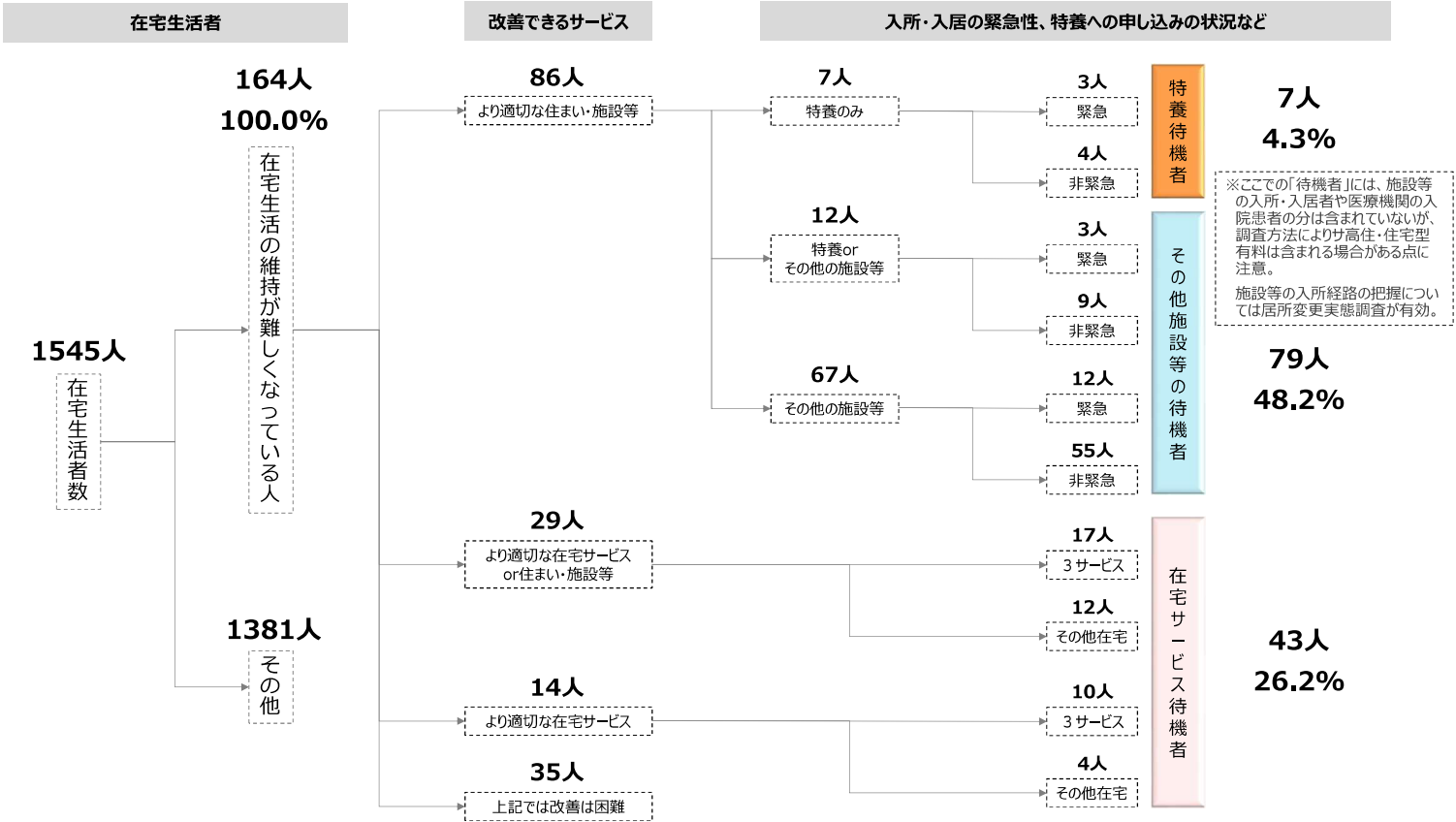
(注)「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

「医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」が理由の人の具体的な内容（複数回答）



（注）「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

「生活の維持が難しくなっている人」の生活の改善に必要なサービス変更



（注1）「より適切な在宅サービスor住まい・施設等」については、選択された在宅サービスで「住まい・施設等」を代替できるとして、「在宅サービス待機者」に分類しています。
（注2）「生活の維持が難しくなっている人」の合計164人のうち、上記の分類が可能な164人について分類しています（分類不能な場合は「その他」に算入しています）。割合は、164人を分母として算出したものです。
（注3）「非緊急」には、緊急度について「入所が望ましいが、しばらくは他のサービスでも大丈夫」「その他」と答えた方と無回答の方を含めています。
（注4）上記に示す人数は、「回答実数」であり、回収率の逆数を乗じて簡易的に算出した「粗推計」されたものではありません。

「その他施設等の待機者」と「在宅サービス待機者」の
生活の改善に必要なサービス（複数回答）

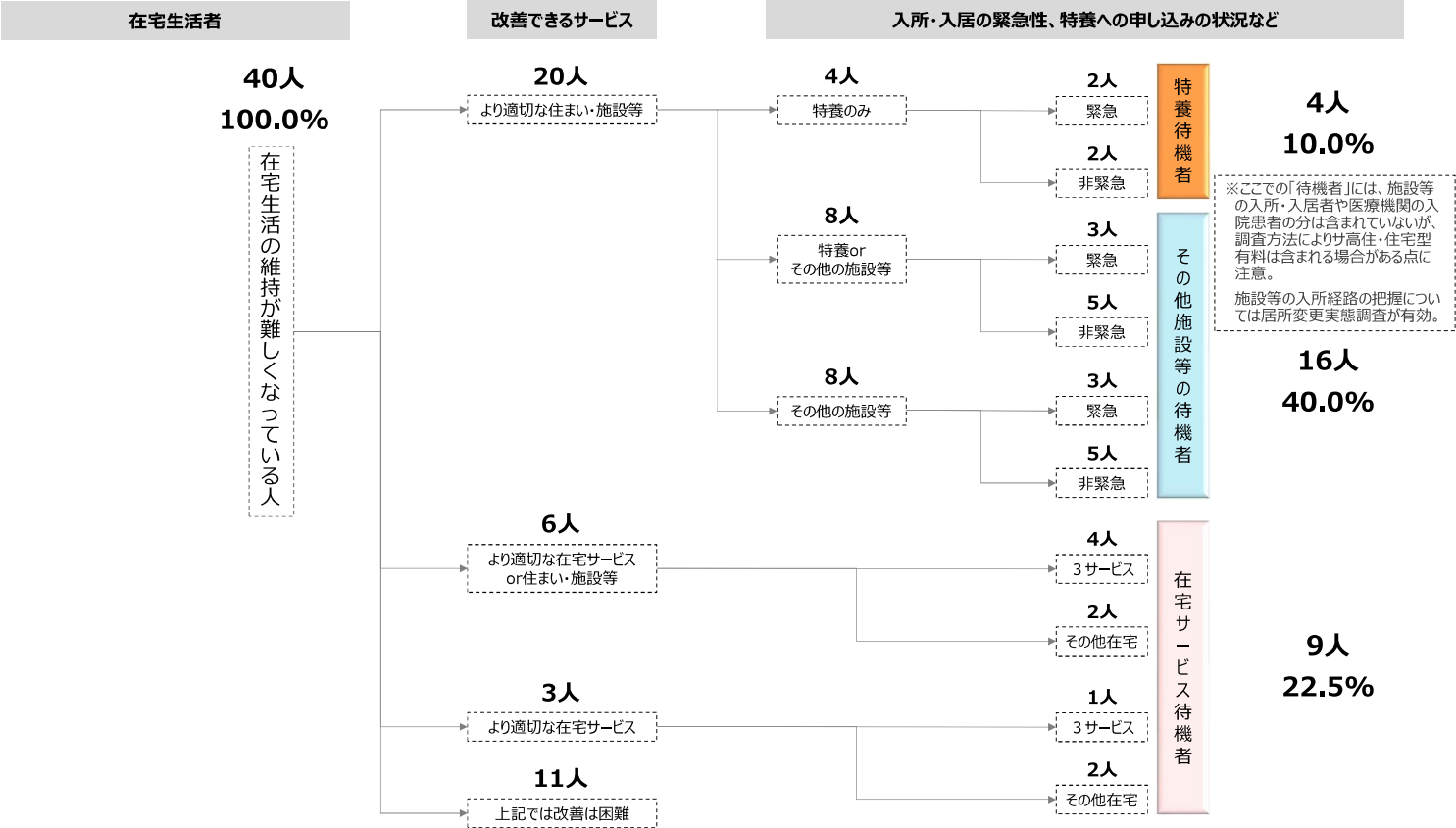
生活の改善に必要なサービス	その他施設等の待機者(79人)			在宅サービス待機者(43人)		
住まい・施設等	住宅型有料	8人	10.1%	住宅型有料	3人	7.0%
	サ高住	20人	25.3%	サ高住	7人	16.3%
	軽費老人ホーム	15人	19.0%	軽費老人ホーム	2人	4.7%
	グループホーム	41人	51.9%	グループホーム	20人	46.5%
	特定施設	2人	2.5%	特定施設	8人	18.6%
	介護老人保健施設	42人	53.2%	介護老人保健施設	14人	32.6%
	介護医療院	8人	10.1%	介護医療院	2人	4.7%
	特別養護老人ホーム	12人	15.2%	特別養護老人ホーム	12人	27.9%
在宅サービス	—			ショートステイ	15人	34.9%
				訪問介護、訪問入浴	5人	11.6%
				夜間対応型訪問介護	2人	4.7%
				訪問看護	6人	14.0%
				訪問リハ	2人	4.7%
				通所介護、通所リハ、 認知症対応型通所	9人	20.9%
				定期巡回サービス	12人	27.9%
				小規模多機能	16人	37.2%
				看護小規模多機能	2人	4.7%
				訪問診療	0人	0.0%
				居宅療養管理指導	0人	0.0%

(注1) 割合は、それぞれ、その他施設等の待機者79人、在宅サービス待機者43人を分母として算出したものです。

(注2)「在宅サービス待機者」について、生活改善に必要なサービスとして「住まい・施設等」と「在宅サービス」の両方を回答している場合は、代替が可能としています。

生活の改善に向けて、代替が可能

「生活の維持が難しくなっている人」の生活の改善に必要なサービス変更（要介護3以上）



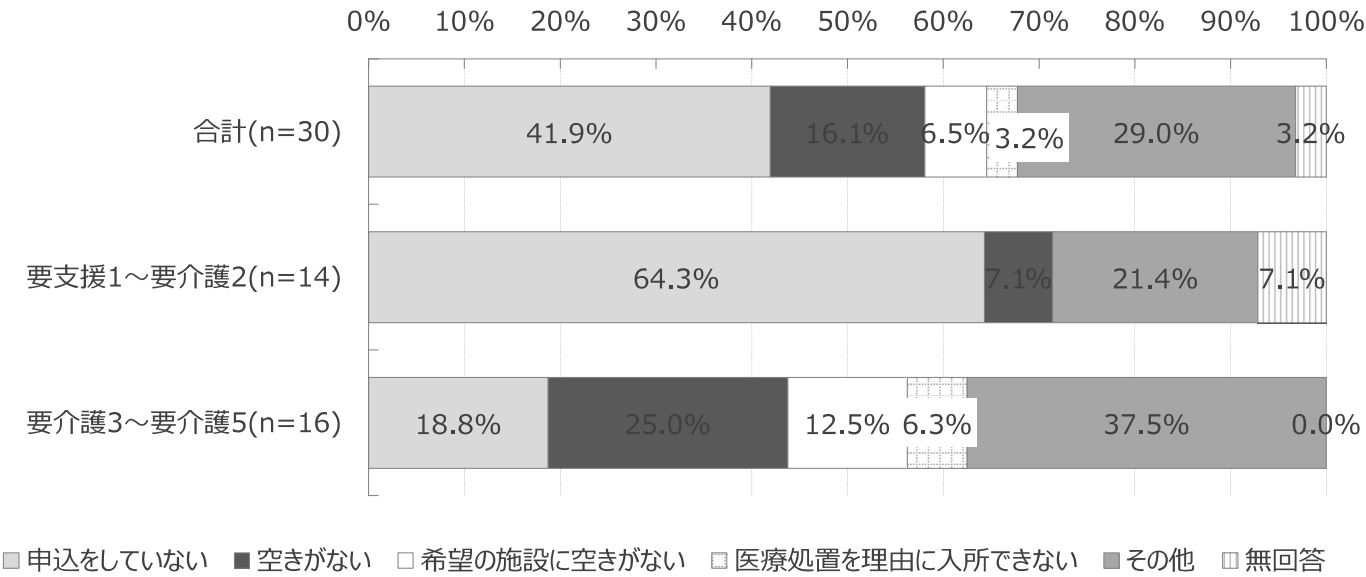
(注1)「より適切な在宅サービスの住まい・施設等」については、選択された在宅サービスで「住まい・施設等」を代替できるとして、「在宅サービス待機者」に分類しています。

(注2)「生活の維持が難しくなっている人（要介護3以上）」の合計40人のうち、上記の分類が可能な40人について分類しています（分類不能場合は「その他」に算入しています）。割合は、40人を分母として算出したものです。

(注3)「非緊急に」、緊急度について「入所が望ましい、しほらくは他のサービスでも大丈夫」「その他」と答えた方と無回答の方を含めています。

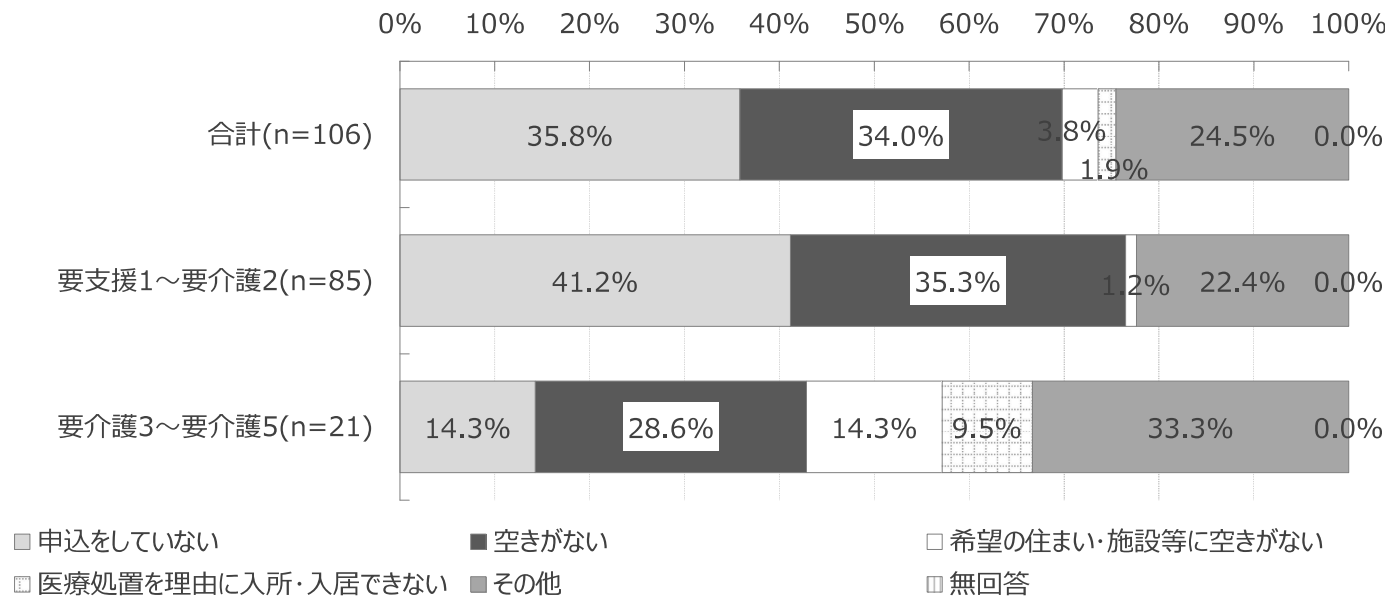
(注4) 上記に示す人数は、「回答実数」であり、回収率の逆数に乗じて簡易的に算出した「相推計」されたものではありません。

特養に入所できていない理由
(改善に必要なサービスで、特養を選択した人)



(注)「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

特養以外の住まい・施設等に入所・入居できていない理由
(改善に必要なサービスで、特養以外の施設・住まい等を選択した人)



(注)「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。